

一般社団法人国際法協会日本支部 2016年度事業報告書

住所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内
代表理事 柳井俊二

当法人の2016年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 会員総会

定時会員総会を2016年4月23日13時25分～13時50分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Aを参照。

2. 理事会

第1回理事会を2016年4月23日12時～13時15分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Bを参照。

第2回理事会を2016年4月23日13時55分～14時10分に東京大学山上会館において行った。議事の詳細は、資料Cを参照。

第3回理事会を2016年11月28日18時30分～20時30分にアルカディア市ヶ谷において行った。議事の詳細は、資料Dを参照。

3. 事業活動その1 研究活動

① 国内大会

国内大会を2016年4月23日10時45分～17時55分に東京大学山上会館において行った。大会の詳細は次の通り。

午前の部 座長 吾郷眞一(立命館大学教授)

「近代国際法の生成母体と法史的展開に関する一考察」 杉原高嶺(京都大学名誉教授)

午後の部 共通テーマ「知的財産権と国際法・国際私法」 座長 山内惟介(中央大学教授)

「知的財産権の国際的執行—ILA『知的財産権と国際私法』委員会の活動を中心として」

河野俊行(九州大学教授)

「知的財産権と先住民・伝統的知識」

桐山孝信(大阪市立大学教授)

「知的財産制度の国際調和の進展とその限界」 鈴木将文(名古屋大学教授)

「知的財産に関する国際紛争をめぐる実務」 熊倉禎男(中村合同特許法律事務所弁護士)

② 国際委員会

2016年8月7日～11日に南アフリカ・ヨハネスブルグにおいて開催された第77回世界大会に会員を派遣した。

4. 事業活動その2 出版活動

英文国際法年報(Japanese Yearbook of International Law) 第59巻の出版を行った。同巻は2017年3月に刊行された。同巻の目次は、資料Eを参照(同巻は各会員に郵送済)。

一般社団法人国際法協会日本支部 2017年度定時会員総会議事録

日時：2017年4月22日（土）13時45分～14時10分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

会員総数：319名

出席者及び委任状提出者の総数：171名

出席理事（23名）：畑場準一、浅田正彦、岩沢雄司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、斎木尚子、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、鳥居淳子、道垣内正人、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

出席監事（2名）：折田正樹、川村明

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席者及び委任状提出者の総数が171名ゆえ、定数を満たし本総会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書等の承認の件

各担当理事より、2016年度事業報告及びその附属明細書並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）及びその附属明細書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、2016年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2017年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事より、2017年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の承認の件

庶務担当業務執行理事より、理事会としては、通常会員として、通常会員につき、王志安・駒澤大学法学部教授、林恵子・松尾綜法律事務所弁護士、小塚荘一郎・学習院大学法学部教授、木村ひとみ・大妻女子大学准教授、金武真智子・ユトレヒト大学助教授、米谷三以・西村あさひ法律事務所弁護士、石塚智佐・東洋大学法学部准教授、安藤貴世・日本大学危機管理学部教授、高橋純・外務省専門調査員（在ハンブルグ）、丸山政己・山形大学人文社会科学部准教授、佐藤智恵・明治大学法学部准教授、加藤陽・近畿大学法学部准教授の計12名を会員総会に新入会員として推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。また、庶務担当業務執行理事より、理事会としては、特別会員として、吉田朋之氏、中村和彦氏、毛利忠敦氏にかえて、三上正裕氏、河津邦彦氏、中村仁威氏を推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。これにより、会員数は331名（通常会員313名、特別会員6名、維持会員12名）となる。

審議事項4：2020年世界大会（京都）の件

代表理事、庶務担当業務執行理事及び京都大会共同実行委員長より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人として選出された、柳井俊二（代表理事・議長）、奥脇直也（副代表理事）、熊倉禎男（業務執行理事）は、次に記名押印する。

2017年 4月 28日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

副代表理事 奥脇直也

業務執行理事 熊倉禎男

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2016年度第1回理事会議事録

日時：2016年4月23日（土）12時—13時15分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：21名

出席者 理事（19名）：焔場準一、浅田正彦、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、坂元茂樹、櫻田嘉章、鳥居淳子、道垣内正人、中谷和弘、廣部和也、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

監事（1名）：川村明

欠席者 理事：岩沢雄司、小和田恒 監事：折田正樹

奥脇直也代表理事が議長席につき、出席理事が上記19名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、編集担当理事から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。なお、研究企画担当理事欠席のため、かわりに庶務担当業務執行理事が事前に説明を聴取した上で報告をし、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2015年度事業報告及びその付属明細書（公益目的支出計画実施報告）並びに同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）の承認の件

各担当理事（研究企画事項については欠席の研究企画担当理事にかわって庶務担当業務執行理事）から、2015年度事業報告及びその付属明細書（公益目的支出計画実施報告）並びに同年度決算案及びその付属明細書（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当業務執行理事より、平成27年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2016年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事（研究企画事項については欠席の研究企画担当理事にかわって庶務担当業務執行理事）より、2016年度事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の件

庶務担当業務執行理事より、通常会員につき8名（島坂泰寛・駐日英国大使館国防安全保障担当官、中島啓・神戸大学法学研究科学術研究員、加々美康彦・中部大学国際関係学部准教授、田中佐代子・法政大学法学部准教授、北村朋史・東京大学教養学部准教授、種村佑介・首都大学東京都市教養学部准教授、黒崎将広・防衛大学校国際関係学科准教授、佐俣紀仁・東北医科薬科大学教養教育センター講師）の入会を、前回の理事会で承認した9名の通常会員候補者及び2名の特別会員候補者とあわせて会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：新理事・監事の件

代表理事より、塚場準一、浅田正彦、岩沢雄司、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、坂元茂樹、斎木尚子、酒井啓亘、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介の24名を理事候補者として会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

また、代表理事より、折田正樹及び川村明の2名を監事候補者として会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：世界大会の日本開催の件

代表理事及び庶務担当常務執行理事より、2020年8月に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、奥脇直也(代表理事・議長)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2016年5月2日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事(議長) 奥脇直也

監事 川村明

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2016年度第2回理事会議事録

日時：2016年4月23日（土）13時55分～14時10分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：24名

出席者 理事（22名）：舩場準一、浅田正彦、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、齋木尚子、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介
監事（1名）：川村明

欠席者 理事：岩沢雄司、小和田恒 監事：折田正樹

新代表理事が選出されるまでの間、奥脇直也前代表理事が議長席につき、出席理事が上記22名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：今期の代表理事、副代表理事、業務執行理事の選任

定款に従い、代表理事、副代表理事、業務執行理事（2名）を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、代表理事には柳井俊二を、副代表理事には奥脇直也を、業務執行理事には熊倉禎男と中谷和弘を、全員一致により選出した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。

審議事項2：今期の各主任の選任

主任規程に従い、各主任を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、会計主任には熊倉禎男を、庶務主任には中谷和弘を、編集主任には森川幸一を、研究企画主任には柳原正治を、全員一致により選出した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、奥脇直也(代表理事・議長)、柳井俊二(被選任代表理事)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2016年5月2日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 奥脇直也

被選任代表理事 柳井俊二

監事 川村明

議事録作成者 業務執行理事 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2016年度第3回理事会議事録

日時：2016年11月28日（月）18時30分～20時30分

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）白根の間

理事総数：24名

出席者

理事（21名）：畑場準一、浅田正彦、岩沢雄司、奥脇直也、兼原敦子、熊倉禎男、斎木尚子、酒井啓亘、坂元茂樹、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、廣部和也、古谷修一、松井芳郎、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

監事（2名）：折田正樹、川村明

欠席者

理事（3名）：香西茂、小和田恒、村瀬信也

柳井俊二代表理事が議長席につき、出席理事が上記21名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各主任による報告

代表理事、業務執行理事、各主任（庶務、会計、編集の各担当理事）から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2016年度事業報告及び同年度予算執行状況の件

各担当理事より、2016年事業報告及び同年度予算執行について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：新入会員及び特別会員に関する件

庶務担当理事より、通常会員9名（王志安・駒澤大学法学部教授、林恵子・松尾綜合法律事務所弁護士、小塚荘一郎・学習院大学法学部教授、木村ひとみ・大妻女子大学准教授、金武真智子・ユトレヒト大学助教授、米谷三以・西村あさひ法律事務所弁護士、石塚智佐・東洋大学法学部准教授、安藤貴世・日本大学危機管理学部教授、高橋純・外務省専門調査員（在ハンブルグ））の入会及び特別会員2名の交代（吉田朋之氏に代わり三上正裕氏、中村和彦氏に代わり河津邦彦氏）を来年4月の会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：今後の財政に関する件

庶務担当理事から、今後の財政状況につき説明がなされた。2020年の京都大会を見越して諸経費の削減及び収入の増加に一層努める方針が諮られ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：世界大会の件

庶務担当理事及び京都大会共同実行委員長より、2020年の京都大会の準備状況について説明がなされた。ロジ業者の選定については、京都大会執行部において更に見積もりを精査した上で契約を締結する方針が諮られ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：その他

庶務担当理事から、学術著作権協会からの著作権使用料の送金に関して説明がなされた。さらに情報を収集した上で対応する方針が諮られ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、柳井俊二（代表理事・議長）、折田正樹（監事）、川村明（監事）は、次に記名押印する。

2016年12月2日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 柳井俊二

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

Volume 59 (2016)
CONTENTS

ARTICLES

HALF A CENTURY WITH THE INTERNATIONAL COVENANTS ON
HUMAN RIGHTS: LONG-TERM IMPACTS ON THE WORLD,
ASIA AND JAPAN: PART ONE

Overview of A Half-Century of International Covenants on Human Rights:
Inter-State Cooperation as the Original Infrastructure and Autonomous
Institutionalization *Kaoru Obata* 1

Whose International Law Is It? Some Reflections on the Contributions of
Non-State Actors to the Development and Implementation of International
Human Rights Law *Andrew Byrnes* 14

Toward a Holistic Understanding and Implementation of Human Rights:
Development of Norms and Practice under the International Covenant on
Economic, Social and Cultural Rights *SHIN Hae-Bong* 51

Echoes of Strasbourg in Geneva
— The Influence of ECHR Anti-Torture Jurisprudence on the United Nations
Human Rights Committee — *Anoïve Buyse* 81

The Influence of the International Covenant on Civil and Political Rights
on Prisoners' Rights and Criminal Justice in Contemporary Japan
..... *Yasuzo Kitamura* 99

The Impact of the International Covenants on Human Rights on the Rights
of Foreigners in Japan *TERAZA Koji* 156

UNILATERALISM AND MULTILATERALISM IN REGULATING CROSS-BORDER
BUSINESS TRANSACTIONS: PART ONE

Towards a Private International Law for Regulatory Conflicts?
..... *Ralf Michaels* 175

Customer Location and the International Reach of
National Competition Laws *Tadashi Shiraishi* 202

Unilateralism, Bilateralism, and Multilateralism in International Taxation
 *Keigo Fuchi* 216

NOTE

Financial Stability Concern of the Extraterritorial Impacts Caused by the
 Recent US Financial Sanctions on Foreign Banks *Takashi Kubota* 229

PARTY AUTONOMY IN CONTEMPORARY PRIVATE INTERNATIONAL LAW:
PART TWO

Party Autonomy and Regulation

— Public Interests in Private International Law — *Stéphanie Françoise* 251

Party Autonomy in Contemporary Private International Law

— The Hague Principles on Choice of Law and East Asia —
 *Yuko Nishihani* 300

ICJ JUDGMENT ON WHALING IN THE ANTARCTIC:
ITS SIGNIFICANCE AND IMPLICATIONS: PART TWOParadoxical Role of Experts in the *Whaling in the Antarctic* Case

..... *Shotauro Hamamoto* 345

JAPANESE DIGEST OF INTERNATIONAL LAW

The Japanese Views on Legal Issues Related to Security

..... *Tomohiro Mikanagi and Hirohito Ogi* 360

*Right of Self-Defense — Armed Attack — Request by the Attacked State —
 Distinction between Individual Self-Defense and Collective Self-Defense —
 Measures against Non-Innocent Navigation — Defensive On-the-Spot Measures
 against Minor Attacks*

The Destruction of Japanese Abandoned Chemical Weapons

in China under the Chemical Weapons Convention *Masahiko Asada* 372

*Chemical Weapons Convention — Chemical Weapons Abandoned by Japan in
 China — Extension of Destruction Deadline — Decision of the Executive Council
 on the Destruction of ACWs beyond Extended Destruction Deadline — MOU
 between Japan and China regarding the Destruction of ACWs beyond Extended
 Destruction Deadline*

CASES AND ISSUES IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

The Jurisdiction of Foreign Courts and the Recognition of Foreign Judgments
 Ordering Injunction: The Supreme Court Judgment of April 24, 2014
 *Bélgab Elbazli* 395

BOOK REVIEWS

Mechuu Sengobaisshou to Kokusai Hou [Post-War Reparations between Japan
 and China under International Law], by Masahiko Asada. Tokyo: Toshindo, 2015.
 *Kohki Abe* 420

Kokusai Saiben to Gendai Kokusaiho no Tenkai [International Adjudication
 and Development of Contemporary International Law], edited by Masahiko
 Asada, Nobuyuki Kato and Hirohito Saka. Tokyo: Sansendo, 2014.
 *Junichi Eto and Junko Iwatsuki* 423

Kokusaihougaku no Sposou: Toutaisuten to Tenbo [Aspects of International
 Law Studies: Achievements and Prospects (Commemorative Book in Honor of
 Professor Shinya Murase)], edited by Junichi Eto. Tokyo: Shinzansha, 2015.
 *Takabei Yamada, Tomohiko Kobayashi, and Dai Tamada* 429

Saiken/Donsan wo Kaistryoushita Kinyunoribiki to Kokusaiho [Financial
 Transactions with Assignment/Collateralization of Finance Receivables/
 Movables and Conflict of Law], by Naoto Fujisawa. Tokyo: Doubunsha, 2014.
 *Takuya Shima* 433

Kokusai Shibo Ronsbu: Kokusai Shibo no Shinzui wo Motomete [Essay on
 Private International Law: In Search of the Essence of Private International
 Law], by Hiroshi Morita. Tokyo: Shinzansha, 2014.
 *Ai Murakami* 436

*Kokusaiho Gakusha ga Yomu Senkenku Mondai — Furso Kaiketsu eno Tenbo
 wo Hiraku* [The Senkaku Issue Analyzed by a Specialist in International Law:
 Carving out New Horizons for the Settlement of the Dispute], by Yoshiko
 Matsui. Tokyo: Nihon Hyoronsha, 2014. *Masabaru Yanagihara* 440

*Intellectual Property and Private International Law: Comparative Perspectives
 (Studies in Private International Law)*, edited by Toshiyuki Kono. Oxford: Hart
 Publishing, 2012. *Atsuko Yamaguchi* 443

Yoroppa Chihui Jinken-bo no Kenpo Chitsuyo-ka [The Constitutionalization of
 European Human Rights Law: A Critical Study in a Process of International
 Law], by Kaoru Obata. Tokyo: Shinzansha, 2014. *Takao Suami* 448

<i>International Liability Regime for Biodiversity Damage: The Nagoya-Kuala Lumpur Supplementary Protocol</i> , edited by Akiko Shibata, Routledge, 2014. Akiko Toi	452
<i>Resistance and Change in the International Law on Foreign Investment</i> , by M. Soranarajah, Cambridge: Cambridge University Press, 2015. Yucong Wang	455
<i>Kokusaiho niokeru Kinkyūhinan</i> [Necessity in International Law], by Takubei Yamada, Tokyo: Yuhikaku, 2014. Tomojumi Kitamura	458
JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN	
I. Public International Law	
Sapporo District Court, Judgment, September 19, 2013. <i>Construction of the New Road — Environmental Impact Assessment — Convention on the Biological Diversity — Interpretative Guidelines</i>	463
Tokyo District Court, Judgment, February 25, 2015. <i>Compensation for War Injuries — Individuals' Right to Seek Compensation under the 1907 Convention Respecting the Laws and Customs of War on Land — Individuals' Right to Seek Compensation under Customary International Law</i>	468
Tokyo District Court, Judgment, June 16, 2015. <i>Conditions to Grant Special Permission to Stay in Japan — Necessity for Medical Treatment — Article 12(1)(2) of ICESCR — Separation from Parents — Articles 3(1) and 9(1) of CRC</i>	474
Tokyo District Court, Judgment, August 28, 2015. <i>Obligation of Minister of Justice to Provide for Refugee Recognition — Violation of the Immigration Control and Refugee Recognition Act — Article 14(2) and Article 17(2) of the Convention relating to the Status of Refugees</i>	485
II. Private International Law	
Tokyo High Court, Judgment, May 20, 2015. <i>Enforcement of Foreign Judgments in Japan — Contravention of Public Policy — International Adjudicatory Jurisdiction — Payment of Child Support</i>	490
Tokyo District Court, Judgment, March 26, 2014. <i>Exclusive Choice of Court Agreement — Interpretation of a Choice of Court Clause in a Contract</i>	494

Tokyo District Court, Interlocutory Judgment, January 28, 2015. <i>Exclusive Jurisdiction Clause — Arbitrability of Disputes Regarding Statutory Interpretation</i>	497
---	-----

Osaka District Court, Decision, March 17, 2015. <i>Arbitration — Japanese Arbitration Act — Setting Aside of an Arbitral Award</i>	501
--	-----

CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS IN 2015.	507
--	-----

CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2015.	523
--	-----

DOCUMENTS

1. The New Declaration of Japan Recognizing the Compulsory Jurisdiction of the International Court of Justice in Conformity with Article 36, Paragraph 2 of the Statute of the International Court of Justice. 525
2. Announcement by Foreign Ministers of Japan and the Republic of Korea Regarding the Issue of "Comfort Women". 527

ACTIVITIES

- I. Activities of the International Law Association of Japan. 530
- II. Activities of Related Academic Associations in Japan. 537
 1. Kokusaiho Gakkai (Japanese Society of International Law, established in 1897). 537
 2. Kokusai Shihō Gakkai (Private International Law Association of Japan, established in 1949). 543
 3. Sekaiho Gakkai (Japanese Association of World Law, established in 1965). 546

INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL.	548
--	-----

XIV CONTENTS

TABLE OF CASES 551

TABLE OF TREATIES AND OTHER INSTRUMENTS 555